



描かれた理想郷

*盛岡市内在住で65歳以上の方、小・中学生のうち盛岡市在住・就学の方は無料
本郷かきこも持ちの方やその介護をされる方、障がい者1人につき1人までは無料
*会期中の休館日は、12月17日、12月31日、1月1日、1月21日、2階閉室日は、12月18日、12月19日、12月20日

蓬萊図

を / horai zu /

よむ

会場 / もりおか歴史文化館 2階企画展示室

開館時間 / 午前9時から午後6時 *入場受付は午後5時30分まで

観覧料 / 一般300円、高校生200円、
小・中学生100円、団体(20人以上)は各2割引

令和6年 12月1日 から

令和7年 2月17日 まで

もりおか歴史文化館
Morioka History and Culture Museum 活性化グループ

〒020-0023 岩手県盛岡市内丸1番50号 Tel.019-681-2100 <https://www.morireki.jp/>



描かれた理想郷

/ horai no /

令和6年12

1日

から

令和7年2

17月まで

蓬萊は、古代中国において渤海の東にあると考えられた仙境である。そこには不老不死の仙人たちが暮らしているが、人が近づくとすると船が風に戻され、近づくことができないのだという。秦の始皇帝の命を受けた徐福が不老不死の仙薬を求めて旅立った目的地として、あるいは『竹取物語』でかぐや姫が求婚者の1人に求めた「蓬萊の玉の枝」の原産地としても知られる。蓬萊は、不老不死の仙人の住まう永遠の繁栄の象徴であり、人の身では辿り着くことの出来ない神秘的な理想郷でもあるのだ。

日本では、各地に蓬萊伝説・徐福伝説が残されている。それは、蓬萊があるという中国の東の海に浮かぶ島国としては当然の成り行きと言えるだろう。しかしもちろん、仙人も仙薬も玉の枝も、あくまでも伝説に過ぎない。それでも、富士山や熱田、熊野周辺などに同地を蓬萊と結びつけるような伝説が現在まで伝わっていることは、蓬萊という理想郷がいかに強く人々の心をひきつけ、憧れを集めたかを証明するものではある。その結果蓬萊は日本においても、吉祥の象徴として絶大な人気を集め、絵画や工芸装飾に頻りに登場するようになった。

当館収蔵の狩野林泉筆《蓬萊図屏風》もそのような美術品のうちの1点であると考えられる。本展は、《蓬萊図屏風》を入口として伝説の理想郷・蓬萊の姿をよみ解く試みである。和漢の歴史書や物語、辞書に記され数多の絵画や工芸品に描かれた「蓬萊」は、果たしてどのような姿をしているのだろうか。

関連企画

① けきぶん講座「蓬萊図をよむ 一描かれたのは蓬萊か。それとも…、一」

- 日時 / 1月25日(土) 13:30-14:30
- 会場 / 1階 研修室
- 講師 / 福島 茜(企画展担当芸員)
- 参加費 / 無料【定員30名】
- 申し込み締め切り / 1月10日(金)
- 応募方法 / 往復ハガキまたは申し込みフォームに、①申し込み講座タイトル ②氏名 ③年齢 ④住所 ⑤電話番号を楷書で明記し、1通につき1名でお申し込みください。
- 注意事項 / お申込み多数の場合は抽選となります。記載内容に不備がある場合や判読不能の場合、無効となりますのでご注意ください。同一名義で複数ご応募の場合、1通のみ有効となります。



② ギャラリートーク(展示資料解説) ※当日自由参加

- 日時 / 12月15日(日) 13:30-14:00
2月11日(火・祝) 13:30-14:00
- 会場 / 企画展示室

③ オンラインコンテンツの配信

Youtube、SNSを用いて展示資料解説等のオンライン配信を行います。

YouTube ▶



もりおか歴史文化館

Morioka History and Culture Museum 活性化グループ

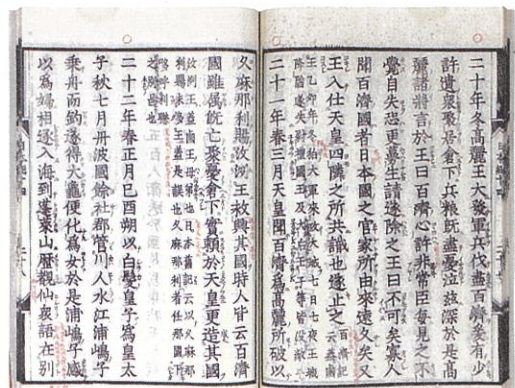


蓬萊図屏風(右隻) / 狩野林泉



蓬萊図屏風(左隻) / 狩野林泉

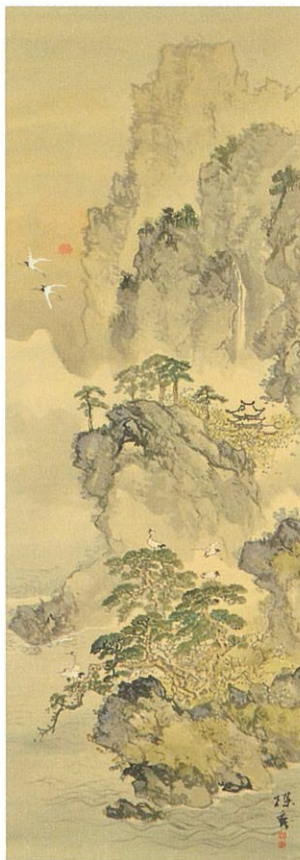
蓬萊図をよむ



日本書紀



山海経(海内北経より蓬萊の図)



蓬萊図 / 模秀



お問い合わせ・講座申し込み
もりおか歴史文化館

〒020-0023

岩手県盛岡市内丸1番50号

Tel.019-681-2100

https://www.morireki.jp/